



資料を読み上げ論語への理解を深める親子ら(提供写真)

# 論語 じっくり…

## 中国系親子ら 孔子の教え学ぶ

北海道論語会(孔優人代表)の中国語と論語の講座が23日、登別市登別本町の同会事務局で行われ、近隣に住む中国系の子もたちが、儒家の祖である孔子の教えを学んだ。

在日の中国人や中国人と日本人の間に生まれた子どもたちに論語を広めたいと実施して2回目。孔子の子孫で論語の普及に励む孔佩群さん(市職員)が講師を務めた。参加した親子ら8

人は、あいさつ程度の簡単な中国語を学び、四字熟語「温故知新」の書き下ろし文「故きを温めて新しきを知れば、以て師と為る可し」などの論語を声に出して読み、理解を深めた。

登別温泉町から娘2人と参加した王素娟さん(33)は「子どもたちが集中して中国語と論語を学んでいた。私自身も改めて原文で論語を学びたいと思った」と話していた。(西川悠也)